

昭和十年七月二日

福岡縣選送等々につき、無産政黨、五國家主義

用の謝答状也

方一報

要旨

- 1. 菅下無産政黨自身 衆議三、特選三。
- 2. 八幡市等、川芳大系、川北民系、考案す夫を候補、善あり
- 3. 四ノ部、候補者多し、競争困難
- 4. 厚田部、川北民系、川北民系、夫を候補の計画
- 5. 其他、具体的行方あり

川芳大系社大電

(一) 八幡支那——送答也 八幡市

現野選

室本居廣

福岡選送会対策部長

次井 菊松

八幡支那執行委員長

三浦 實二

右は各段の意あり、何れも勢力、柏中、鼎立、然るに

あり、偶、六月九日、今度顧問浅原健二、来場と、概に

支那委員、今度、南佐候補者、選挙と、富沢、三者

共本問題には、口を、減して、其の、奥意と、決す、大決

原健二、前回は、常山、候補者、選挙と、富沢、三者

長太郎、一紙の、騰腕、返と、招集、した、事、陸上、鑑み

其、意思と、以て、了ら、く、殊、為、何、案、決定、も、見、ず

七月初旬、残存の、際、層、加、候、事、を、今、期、後、す、し